



ふくしま教育ニュース

2015年6月 第44号 編集・発行 福島県教育委員会

あこやかに育て ふくしまの子どもたち

「ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト」はじまります!

登場人物



健康教育課
の職員



ふくしまっ子
のお母さん



ふくしまっ子
のお父さん

福島県の児童生徒の体力向上や健康な身体づくりのため、今年度からはじまる「ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト」を紹介します。

健康教育課の職員（以下、**職**）「お子さんは身体を使って遊ぶことが苦手だったり、すぐ『疲れた』と言ったりすることはありますか？」

ふくしまっ子のお母さん（以下、**母**）「そういえば…。」

職「福島県では、震災の影響によって子どもたちが楽しく身体を動かす機会が少なかったため、未来の福島を担う子どもたちに体力の低下や肥満といった健康課題が現れ始めています。」

母「うちの子、大丈夫かしら。どうしたらいいんですか？」

職「この健康課題を解決するため、平成 27 年度から新たに「**ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト**」を実施します。運動の楽しさを伝えたり、運動を好きになる児童生徒を増やすため、**小学校に体育の専門アドバイザーを派遣（6月～）**したり、『**自分手帳**』を2学期中に配付したりします。」

ふくしまっ子のお父さん（以下、**父**）「『自分手帳』ってなんですか？」

職「子どもたちが**自分で運動・体力・健康・食習慣の状況を継続的に記入**する手帳です。」

母「子ども自身はもちろん、家庭でも子どもの成長や健康状態、体力の推移を継続して把握できるようになりますね。」

職「ほかに『動ける体』『動きたい体』づくりのため、小学校の体育の時間に楽しく実践できる**本県独自の『運動身体づくりプログラム』**を取り入れています。このプログラム、お子さんに聞いたことはありますか？」

父「早速、家に帰ったら聞いてみます。でも、自分も運動不足だし…。親も子どもと一緒にできますか？」

職「このプログラムは県の**ホームページで動画をご覧くださいませ**よ。（**運動身体プログラム 映像**

父「子どもたちを健康にしていくためには、**学校と家庭が協力**することが大切なのですね。」

職「そのとおりです!このほか県では**食育**にも力を入れています。ご家庭でも食事の時に、食べることについて話してみてもどうでしょうか。ぜひ子どもたちの**食への興味を引き出し、家庭の味を伝えるきっかけ**にしてくださいね。」



ふたば未来学園 高等学校

新しい学校が開校しました

いわき養護学校 くぼた校



双葉地方の復興と未来を担うグローバルリーダーの育成を目指し開校しました。平田オリザさんによる特別授業が行われるなど、早くも先進的な取組が始まっています。

1期生は、すっかり打ちとけて食堂を利用するなど、順調に高校生活をスタートしました。

県内で初めて県立高等学校の校舎内に設置された特別支援学校です。

「くぼた校」という校名は、地名の「窪田」にちなみ、地域の皆さんに親しみやすく、地域に根ざした教育活動を行っていくという思いが込められています。



一歩ふみだす子どもたちを応援します!

子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業

東日本大震災及び原子力災害以降、本県の子どもたちは様々な機会に福島の今を伝える活動を行うなど、復興に貢献しようという想いを強めています。

県教育委員会は、子どもたちのその想いを実現できる機会を提供します。主体的に復興に寄与する社会体験活動に取り組むことで、子どもたちが新生ふくしまを担う人材となるよう応援します。

<事業内容(例)>

事業1 避難者へ元気を!!

仮設住宅を継続的に訪問し、避難生活を送っている方々と交流するなどして、元気を発信する。

事業2 一人一人が復興大使!!

風評被害等を経験した地域の方々との交流を行うなどして、地域の復興を考え、他県等へふくしまの復興をアピールする。

事業3 起業体験、ふくしまを発信!!

特産物を生かした商品化や販売等、専門性を生かして、何かできるかを考え実践することで、ふくしまを発信する。

事業終了後、成果発表会を開催し事業実績を公開するとともに、社会教育課のホームページに掲載します。

(平成28年3月予定)

詳しくは [福島県社会教育課](#)

[検索](#)

子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業

「福島のことを伝えたい!」
「復興に貢献したい!」

あの震災から4年。
ぼくたち福島県の子どもは
全国の方々から
たくさん助けてもらったね。

今度は私たちが
ふくしまの今をみんなに
知ってもらうために何かを始める
時じゃないかな?

ぼくたちに
何が
できるか
考えてみようよ!

自ら考え、行動し、
復興に役立つ
社会体験活動をする
子どもたち

避難している
方々や仮設住宅で
暮らす方々に
何かできることは
ないかな?

同じ苦しみを味わった方々と
助け合って前に進みたい!

避難者の
方々に笑顔に
なってもらい
たい!

仮設住宅の
方々に元気が
なって
もらいたい!

日頃の学習の
成果を生かして
ふくしまの今を
発信したい!

全国の方々に
私たちが作った
ふくしまの名産品を
届けたい!



福島県
東日本大震災
子ども支援基金



ふくしまの未来をひらく読書の力

第三次福島県子ども読書活動推進計画が策定されました

今年のおもな取組

○子どもの夢をはぐくむ読書活動推進事業

読書ボランティアの育成を行う人材育成基礎研修やステップアップ専門研修を実施します。

○ビブリオバトル福島県大会

10月31日(土)郡山市中央公民館において、県内の高校生が、熱い書評合戦を繰り広げます。観戦者も募集しますので是非ご観戦ください。

○子どもの本が繋がるスマイルプロジェクト

本とのふれあいを通して親子のふれあいを深めるために、読み聞かせなどのフェスティバルを開催します。

第1回 7月4日(土)南相馬市民情報交流センター

第2回 11月3日(火)会津稽古堂(会津若松市)

[福島県社会教育課](#)

[検索](#)

ふくしまっ子 自然体験・交流活動支援事業



昨年度補助団体の活動の様子

郷土の良さを伝え合い発信するような交流活動や、充実した自然体験活動等を実施する団体に、体験活動費や交通費、宿泊費を補助します。

活動内容や交通手段、宿泊等については、県内の登録旅行業者に連絡し、ご相談ください。

詳しくは社会教育課ホームページをご覧ください。

[福島県社会教育課](#)

[検索](#)

夢をみつけよう ふくしまの子どもたち

子どもたちの夢探し、夢の実現を応援します!

次世代のふくしまを担う人材育成事業

○専門高校と小・中学校のキャリア教育連携事業

県内各地区において、小・中学校と専門高校(農業科・工業科・商業科)が連携し、小・中学生が専門高校の授業内容を体験したり、高校生が小・中学生に実技指導を行ったりします。

○専門高校における地域産業連携事業

県内の専門高校(農業科・工業科・商業科・水産科・家庭科)において、地元特産品を使ったオリジナル商品の共同開発や高度熟練技術者による実技指導、地域企業経営者による講義等を通して地域を担う人材の育成を図ります。

○先端技術推進事業

ロボット製作などに積極的に取り組んでいる工業高校において、さらに先進的な技術を大学や地域企業と連携して研究・開発を進めることで、優れた人材を育成します。

復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業

会津高校では、生徒自らが課題を設定し、大学や地域企業との連携による研究や海外研修等を通じた探究活動を行い、その過程や成果を地域・県に発信することにより、グローバルな視野を持って地域に貢献できる人材の育成に取り組みます。

第3回特別支援学校作業技能大会～夢に向かってテクノチャレンジ2015～

県内の特別支援学校の高等部の生徒が「作業技能検定部門」「作業製品品評部門」「デモンストレーション部門」の3部門に分かれ、進路に関する学習の成果を発表します。社会参加・自立につながる学力や技能・意欲の向上を図るとともに、自信をもって生きることができるよう支援します。

【開催日】 8月4日(火) 【場所】ピックパレットふくしま



ワークショップで高校生の説明を聴く小学生

高校生のお兄さんお姉さんが、先生になってくれるのね。



学習で身につけたモップさばきでチャレンジ!

ゆたかな心をはぐくみます!

震災を経験した本県の子どもたちに、命の尊さ、思いやり、家族・郷土の大切さについて深く考えさせたいという思いで、平成24年度から3か年にわたり作成してきた県独自の道徳教育資料集(第1～3集)が完成しました。これらは、各学校に配付され、道徳の時間を中心に活用されています。

秋には、家庭向けの道徳リーフレットを配付し、各学校の様々な取組や道徳に関する情報を紹介していく予定です。また、7校の道徳教育研究推進校が、各地区拠点校として地域に根ざした道徳教育を推進します。

〈道徳教育研究推進校〉福島市(北信中)、須賀川市(第三小)、鮫川村(鮫川小)、会津美里町(大沼高校)、只見町(只見小)、相馬市(中村第一)、いわき市(小川中)



県立博物館からのお知らせ

企画展「被災地からの考古学1～福島県浜通り地方の原始・古代」

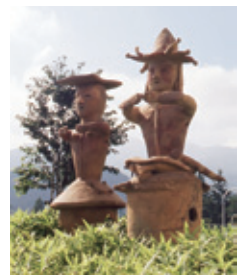
東日本大震災復興事業に伴う発掘調査により新たな歴史が解明されています。浜通り地方が日本の歴史に果たした役割を出土品から考えます。毎週日曜日の午後(13:30～)は、古墳時代人が展示解説をします。

- ◆開催期間: 平成27年7月18日(土)～9月13日(日)
- ◆休館日: 毎週月曜日、7月21日(火) ※7月20日(月)、8月10日(月)は開館
- ◆観覧料: 一般・大学生500円(400円)、高校生300円(240円)、小・中学生200円(160円)
※()は20名以上の団体料金

福島県立博物館 ☎0242-28-6000

福島県立博物館

検索



自然の家でリフレッシュ!

郡山・会津・いわきの各自然の家では、年間を通して自然体験やスポーツ等、様々な体験プログラムを企画しております。また、子ども会行事から各種合宿、御家族での御利用等、アイデア次第でいろいろな使い方ができます。詳しくは各自然の家へお問い合わせください。



体験活動プログラムの一コマ(会津自然の家)

ボランティア募集
一緒に楽しみながらスキルアップを図りませんか?

郡山自然の家 ☎024-957-2111
会津自然の家 ☎0242-83-2480
いわき海浜自然の家 ☎0246-32-7700

奥州藤原氏の時代とふくしま —会津坂下町陣が峯城跡の謎—

世界遺産「平泉」からの出土品と、多彩な貿易陶磁器を有する会津坂下町「陣が峯城跡」の重要文化財を対比しながら、奥州藤原氏の時代における福島の様相をさぐる企画展です。



会津坂下町教育委員会提供

会期中、関連講演会も2回開催されます。

- ◆開催期間: 7月25日(土)～9月27日(日)
 - ◆休館日: 8月31日(月)、9月7日(月)、9月14日(月)、9月24日(休)
 - ◆観覧料: 無料
- まほろん ☎0248-21-0700

まほろん

検索

夏休みの主なコンテスト等

ふくしまから はじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業

ふくしまっ子ごはんコンテスト ～「朝食について見直そう週間運動」スタート!～

献立の作成、食材の準備、調理等の一連のごはんを主食とした食事作りを通して、生活習慣の改善や朝食摂取を基本とした望ましい食習慣の形成を図るとともに、自ら健全な食生活を実践する力(食べる力)の育成を図ることを目的として、「ふくしまっ子ごはんコンテスト」を実施します。小学生は朝食作り、中学生は弁当作りを実践する機会として、みなさんのアイデアあふれる献立を応募してください。

- ◆応募期間 平成27年7月1日(水)～9月2日(水)
- ◆最終実技審査 平成27年10月18日(日) 福島県学校給食会(福島市松川)
※小学校上学年の部、中学校の部のみ
- ◆応募先 各教育事務所学校教育課まで



平成26年度小学校上学年の部
最優秀賞作品「夏野菜たっぷり
元気もりもり朝ごはん」

平成26年度中学校の部
最優秀賞作品「はじまりのあい
づ弁当」

*詳しくは健康教育課のホームページをご覧ください。
また、学校を通してお知らせします。

福島県健康教育課



「ふくしま子ども宣言」作文コンクール

自分の読書体験を振り返り、表現することで読書の楽しさや奥深さに気づいてほしい。そんな願いを込めて作文コンクールを実施します。

- ◆テーマ 「読書で心を豊かにする」
- ◆応募期間 平成27年7月1日(水)～8月27日(木)
- ◆対象 県内在住の小学6年生及び震災等により県外に避難している小学6年生
- ※応募方法など詳しくは教育総務課のホームページをご覧ください。



福島県教育総務課



モラル・エッセイコンテスト

～ぬくもりを感じたあの一言、心が温まったあの出来事、あなたの、そんなエピソードを教えてください～

- ◆応募期間 平成27年7月1日(水)～8月28日(金)
- ◆対象 県内に住む中学生・高校生・一般の方々

福島県義務教育課



「十七字のふれあい」作品募集 ～ふれあいを 未来へつなぐ 十七字～

子どもと家族、子どもと地域の方、子どもと子どもが「ペア」となり、共通体験を通して、お互いが感じたことを作品にして、応募してください。

- ◆応募期間 平成27年7月1日(水)～9月30日(水)
- ◆応募方法 応募用紙を使用してください。(コピーでも結構です。)
○配布場所…保育所・幼稚園・各学校・市町村教育委員会・社会教育施設(自然の家・公民館など)・教育事務所
※社会教育課のホームページからダウンロードできます。
- ◆応募先 各学校、市町村教育委員会、公民館、または各教育事務所まで
※詳しくは社会教育課のホームページをご覧ください。

福島県社会教育課



昨年度表彰式の様子

平成27年度 中学生・高校生の科学・技術研究論文「野口英世賞」募集

科学技術に関する生徒の意識と関心及び科学する心の育成を図り、明日の社会の発展を担う優れた人材を育成するため、中学校・高等学校の生徒を対象にして、科学及び技術に関するテーマに基づく研究論文を募集します。

- ◆募集対象 県内の中学校(含む中学部)・高等学校(含む高等部)の生徒
- ◆募集期間 平成27年9月1日(火)～9月9日(水)(必着)

福島県義務教育課



平成27年度 中学生・高校生の国際理解・国際交流論文「朝河貫一賞」募集

国際性豊かな人材の育成を目指して、郷土が生んだ国際的歴史学者「朝河貫一博士」の名を冠した賞を制定し、国際社会における在り方・生き方等についての論文を募集します。

- ◆募集期間 平成27年9月1日(火)～9月9日(水)(必着)

福島県義務教育課



高校生等奨学給付金のお知らせ

高校生等の授業料以外の教育費負担を軽減するため、非課税世帯の方に奨学給付金を給付します。詳細は各学校を通じてお知らせします。
(今年度は高等学校等1・2年生が対象となります)

福島県奨学給付金



福島県奨学生を募集します

来年度入学予定者を対象に「大学等入学一時金」及び「予約採用(高校・大学等)」の奨学生を募集します。詳細は各学校を通じてお知らせします。

福島県奨学資金



「気づきを支援へ、そして、笑顔へ」

乳幼児から高校生までの障がいがある、または、発達が気になるお子さんの保護者や担当する教員等の相談にお応えします。専門の巡回相談員が相談にあたります。震災で避難している方も現在お住まいの地区で相談が受けられます。お近くの教育事務所までご連絡ください。

(受付時間) 月曜日～金曜日 10:00～17:00

福島県特別支援教育課



問い合わせ先

- 県北地区にお住まいの方 024-523-1653(県北教育事務所)
- 県中地区にお住まいの方 024-935-1493(県中教育事務所)
- 県南地区にお住まいの方 0248-23-1667(県南教育事務所)
- 会津地区にお住まいの方 0242-29-5486(会津教育事務所)
- 南会津地区にお住まいの方 0241-62-5255(南会津教育事務所)
- 相双地区にお住まいの方 0244-26-1314(相双教育事務所)
- いわき地区にお住まいの方 0246-24-6215(いわき教育事務所)

ダイヤルSOS等相談窓口のお知らせ

悩みを抱えている子どもや保護者などに向けて相談窓口を開設しています。

いじめや不登校、体罰などの相談電話「ダイヤルSOS」 0120-453-141
いじめの専門相談電話「福島いじめSOS24」 0120-916-024

※県教育委員会ではHP等の掲載広告を募集しています。詳しくは 福島県教育委員会 広告



ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。

0歳～18歳のお子様をしっかりサポート!

こども型

日帰り
入院や手術
も保障

ケガの通院も
1日目から
保障

第三者への
損害賠償にも
共済金

月掛金は 選べます
1,000円
2,000円



30周年

助けあいの心から生まれた保障 県民共済

お問い合わせと資料のご請求は

共済取扱団体 福島県民共済生活協同組合
福島県認可
〒960-8031 福島市栄町6-6 NBFユニックスビル9F

フリーダイヤル 0120-282-869

☎ 024(524)1400

[受付時間] 平日 9:00～17:00

福島県民共済 検索

共済元受団体/厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報誌へのご意見をお寄せください
k.kouhou@pref.fukushima.lg.jp